会は	5工業品急	宇専門学校	₹ 開講年度 令和03年度	(2021年度)	授業科目	特別研究		
科目基		7 (C Military Militar	(2021 1/2)	1	19339120		
科目番号		0039		科目区分	専門 / 必修			
村田留写 授業形態		実験		単位の種別と単位				
開設学科			 ム創成工学専攻(情報システムコース)		超位数 履修単位: 10 専2			
開設期		通年	公割成上于寺以 (開報ンヘナムコー人)	週時間数	1,3 =			
 	h++	特にな		旭时间数	10			
教科音/多 担当教員		付にな	<i>O</i>					
到達目								
		、実施し、	研究成果を論文にまとめて発表会(公	開)において報告する	5.			
<u>ルーブ</u>	<u>リック _</u>							
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ				
取組			自ら考えて研究への十分な準備を 行うことができるとともに、積極 的に研究に取り組み、結果を得る ことができる。	🛚 十分な準備を行う	ことができると	研究への十分な準備ができず、積極的に研究に取り組むことができない。		
研究報告 (報告書・発表等)			また、自らの研究成果について、 わかりやすい文章構成かつ正しい 図表表現により報告書にまとめる ことができる。	自らの研究成果に 発表することがで 質疑応答に対応で	きるとともに、	自らの研究成果についてまとめ、 発表することができない。 また、自らの研究成果について、 報告書にまとめることができない。		
学科の	到译日樗	項目との						
JABEE基 システム		JABEE基準 育プログラ	(e) JABEE基準 (f) JABEE基準 (g) JA ム学習・教育目標 C-1 システム創成エ	BEE基準 (h) JABEE 学教育プログラム学	基準 (i) 習・教育目標 D	-1 システム創成工学教育プログラム		
教育方:	法等							
概要		研究成	果は、最終1 回の発表会を実施し、最終 ションの技術を実践指導すると共に、	終的に論文としてまと 学会発表についてもま	かさせる。また 援する。	こ、この過程を通じて論文作成やプレセ		
授業の進	め方・方法	学生1. 発表や	人1人に個別の研究テーマを与え、研 報告書の作成について個別に指導する。	究活動に取り組ませる 。	る。指導教員を定	Eめ、日々の研究活動や、発表会での 		
注意点		事後展	習:研究テーマに関連した国内外の文 開学習:研究計画に基づいて自主的か	献調査を積極的に行う つ積極的に進めるとと	うこと こもに,常に進払	り状況を指導教員に報告し、十分な討		
		論を行	うこと.		,	,		
	位の履修	上の注意						
週ごとの報告書の発表に関	到達目標に 完成に至る して、十分	上の注意 関して指導 まで、指導 な推敲を重	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。		,			
週ごとの 報告書の 発表に関	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履	上の注意 関して指導 まで、指導 な推敲を重 修上の区グ	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。		,			
週ごとの 報告書の 発表に関	到達目標に 完成に至る して、十分	上の注意 関して指導 まで、指導 な推敲を重 修上の区グ	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。		,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履	上の注意 関して指導 まで、指導 な推敲を重 修上の区グ	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。	ができていること。	,	, i		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ティブラー:	上の注意 関して指導 まで、指導 な推敲を重 修上の区グ	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。	ができていること。	,	,		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ティブラー:	上の注意 関して指導 まで、指導 な推敲を重 修上の区グ	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。	ができていること。	周ごとの到達目	□ 実務経験のある教員による授業		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ティブラー:	上の注意 関して指導 まで、指導 な推敲を重 修上の区グ ニング	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用	ができている <i>こと</i> 。	周ごとの到達目	□ 実務経験のある教員による授業		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ティブラー:	上の注意 関して指導等 な推敲を重修上の区グ	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用	ができている <i>こと</i> 。 □ 遠隔授業対応	過ごとの到達目 プログラムを作	□ 実務経験のある教員による授業		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ティブラー:	上の注意 関して指導 まで、指導 まな推敲を重 修上の区グ ニング 週 1週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 授業内容 実験、プログラミング	ができていること。	<u></u> 週ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作	□ 実務経験のある教員による授業 票 成し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ディブラーコ 画	上の注意 関して指導導 まで、指導 まで推敲を重 修上の区グ ニング 週 1週 2週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、プログラミング	ができている <i>こと</i> 。	週ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 進捗状況を確認	□ 実務経験のある教員による授業 標 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ティブラー:	上の注意 関して指導導 で、指導 を を 性 と の と に が 推 が を 上 の 区 が に が 指 導 で は が は が は が は し が し が し つ が り つ が り つ り り こ り し り り し り り り り り り り り り り り り	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談わた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用 □ ICT NO ICT	ができている <i>こと</i> 。	<u>周ごとの到達目</u> プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 進捗状況を確認 上ができる。	□ 実務経験のある教員による授業 標 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ		
週ごとの 報告書の 発表に関 <u>授業の</u>	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ディブラーコ 画	上の注意 関して指導導 まで、指導 まで、指導 を上の区グ ニング 週 1週 2週 3週 4週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。	ができていること。	<u>周</u> ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 進捗状況を確認 とができる。 プログラムを作	□ 実務経験のある教員による授業 標 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ディブラーコ 画	上の注意 関して指導導 して指導事 修上の区グ ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 わた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 操業内容 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 各指導教員による研究指導 実験、プログラミング 実験、プログラミング	ができていること。	周ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 進捗状況を確認 とができる。 プログラムを作 プログラムを作	□ 実務経験のある教員による授業 標 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 発表に関 <u>授業の</u>	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ディブラーコ 画	上の注意 関して指導 関して指導 修上の区グ コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 操業内容 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング	ができていること。 遠隔授業対応	周ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを確認 生捗状況を確認 とができる。 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作	□ 実務経験のある教員による授業 標 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 発表に関 で アクラー 授業計	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ディブラーコ 画	上の注意 関して指意を 修上の区グ に変え、推設を につび 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング	ができている <i>こと</i> 。	過ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 進捗状況を確認 とができる。 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作	□ 実務経験のある教員による授業 標 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ディブラーコ 画	上の注意 関して指導車 修上の区グ - ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用 □ ICT	ができていること。	過ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 進捗状況を確認 とができる。 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プロトタイプの プログラムを作	□ 実務経験のある教員による授業 環 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 できる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 発表に関 で アクラー 授業計	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ディブラーコ 画	上の注意 関して指意を 修上の区グ に変え、推設を につび 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング	ができていること。	過ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 進捗状況を確認 とができる。 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作	□ 実務経験のある教員による授業 悪 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。		
週ごとの報告書の発表に関 受業の アクラ	到達目標に完成に至る して、十分 属性・履作 ディブラー: 画	上の注意 関して指導 修上の区グ	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング	ができていること。	周ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを アプログラムを アプログを ア アプログを ア アプログを ア アプログを アを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アプログを アクを アクを アクを アクを アクを アクを アクを アクを アクを アク	□ 実務経験のある教員による授業 悪 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ し、プロトタイプの作成を計画するこ はし、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 学位授与レポート用に実験結果をまと 学位授与レポート用に実験結果をまと		
週ごとの 報告書の 発表に関 で アクラー 授業計	到達目標に 完成に至る して、十分 属性・履 ディブラーコ 画	上の注意 関して指導導車 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。	ができていること。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	過ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを確認 とがでグラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表	□ 実務経験のある教員による授業 悪 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ し、プロトタイプの作成を計画するこ し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 授業 アク・ 授業計	到達目標に完成に至る して、十分 属性・履作 ディブラー: 画	上の注意 関して指意 関して指導重 修上の区 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週 12週 13週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、ポログラミング 実験・ポログラミング 実験・ポログラミング 実験結果のまとめ 実験結果のまとめ	ができていること。	過ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを確認 とがでグラムをを プログラムイをで プログラムイを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを表で表で表で表で表で表で表で表で表が発が、発さと 次めのること会が、発で表で表で表で表で表で表で表が、そ	□ 実務経験のある教員による授業 標成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画することができる。 し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 では、実験を実施することができる。 では、実験を実施することができる。 できる。 では、実験を実施することができる。 できる。 できる。 できる。		
週ごとの 報告書の 授業 アク・ 授業計	到達目標に完成に至る して、十分 属性・履作 ディブラー: 画	上の注意 関して指意 関して指導車 修上の区 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 13週 14週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、アログラミング 実験にアログラミング 実験にアログラミング 実験にアログラミング 実験にアログラミング 実験結果のまとめ 実験結果のまとめ レポート指導	ができていること。	周ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを確認 プログラスを確認 プログラムをを プログラムをを プログラタムをで プログラスを作 プログラスをを プログラスを表で表で プログラスを表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で	□ 実務経験のある教員による授業 「悪成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画することができる。 し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。		
週ごとの報告書の発表に関 受業の アクラ	到達目標に完成に至る して、十分 属性・履作 ディブラー: 画	上の注意 関して指意 修上の区グ コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、アログラミング 実験、アログラミング 実験、アログラミング 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導	ができていること。	周ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを作 プログラムを確認 プログラムを作 プログラムを作 プロログラムを作 プロレグラムを作 プロンクラムを発が表でまで表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表	□ 実務経験のある教員による授業 標 或し、実験を実施することができる。 或し、実験を実施することができる。 或し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ し、プロトタイプの作成を計画するこ はし、実験を実施することができる。 或し、実験を実施することができる。 或し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導		
週ごとの 報告書の 授業 アク・ 授業計	到達目標に完成に至る して、十分 属性・履作 ディブラー: 画	上の注意 関して指意 関して指導車 修上の区 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 13週 14週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、アログラミング 実験にアログラミング 実験にアログラミング 実験にアログラミング 実験にアログラミング 実験結果のまとめ 実験結果のまとめ レポート指導	ができていること。 □ 遠隔授業対応	周ごとの到達目プログラムを作りのできた。 プログラムを作りできたできた。 プログラムを確認とができるを作りできたを作りできた。 プログラムを作りできたを作りできた。 プログラムを作りできた。 プログラムを作りできた。 プログラムを作りできた。 プログラムを作りできた。 できたが発で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表	□ 実務経験のある教員による授業 標成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ し、プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対		
週ごとの報告書の発表に関 受業の アクラ	到達目標に完成に至る して、十分 属性・履作 ディブラー: 画	上の注意 関して指意 修上の区グ コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、アログラミング 実験、アログラミング 実験、アログラミング 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導 実験による研究指導	ができていること。	周ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログランをを作 プログランをで プロログラスをを プロログラクターのるのるのるのるのるのるのるのるのるのるのるのるのるのるのるのるのるのののののの	□ 実務経験のある教員による授業 標 或し、実験を実施することができる。 或し、実験を実施することができる。 或し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ し、プロトタイプの作成を計画するこ はし、実験を実施することができる。 或し、実験を実施することができる。 或し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導		
週ごとの 報告書の 発表に関 で アクラー 授業計	到達目標に完成に至る して、十分 属性・履作 ディブラー: 画	上の注意 関して指意 修上の区グ コング 週 11週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 か □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、ポークラミング 実験による研究指導 実験、プログラミング 実験による研究指導 実験、プログラミング 実験による研究指導 またが述べられること。	ができていること。	周ごとの到達目 プログラムを作 プログラムを作 プログランを作 世がでグラムをを プロログラフィーグランので プロログラタインをを プロログラクランので プロログラーグラーグラーで プログラーグラーグラーで プログラーグラーで で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で	□ 実務経験のある教員による授業 悪成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導		
週でとののの場合では、	到達目標に 完成に サイン 属性・履 ディンフーニ 画 1stQ	上の注意 関して 関して 指導車 修上の区 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 13週 14週 15週 11週 13週 14週 13週 14週 13週 11週 13週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験は果のまとめ 実験結果のまとめ レポート指導 レポート指導 地球確認 実験、プログラミング	ができていること。	周ごとの到達目のプログラムを作りのではある。 プログラスを確認しているのではある。 プログラスをである。 プロググがでグラスムををできている。 プロロロロロググラスムののでは、 プログラスムののでは、 プログラスととと、 できると、 できるできて、 できるできて、 できるできる。 できるできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる	□ 実務経験のある教員による授業 標成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 学位授与レポート用に実験結果をまと 学位授与レポート用に実験結果をまと 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。		
週ごとの 報告書の 発表に関 授業の フクラー	到達目標に完成に至る して、十分 属性・履作 ディブラー: 画	上の注意 関して指定を として指定を として指定を 過して指定を 過して指定を 過して指定を 過して指定を 過して指定を 過して指定を 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 11週 15週 16週 13週 13週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 が □ ICT 利用 授業内容	ができていること。	周ごログララムを作りです。 プログララムを確認 プログララムを確認 プログララムををあるのでです。 プロログララムをををして プロロログララーのでは、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、き	□ 実務経験のある教員による授業 標成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 学位授与レポート用に実験結果をまと る。 学位授与レポート用に実験結果をまとる。 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導		
週でとののの場合では、	到達目標に 完成に サイン 属性・履 ディンフーニ 画 1stQ	上の注意 関して 関して 指導車 修上の区 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 13週 14週 15週 11週 13週 14週 13週 14週 13週 11週 13週	教員の指示に応じて取組むこと。 教員との間で十分な報告、連絡、相談 ねた結論と展望が述べられること。 分 □ ICT 利用 授業内容 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験、プログラミング 実験は果のまとめ 実験結果のまとめ レポート指導 レポート指導 地球確認 実験、プログラミング	ができていること。 □ 遠隔授業対応	周ごとの到達を作り プログラムを作り プログラムををできるとなるできます。 プログラカムをできるからできるからです。 プロログラカーグラカーができるからできるできるできるできるできるできるできるできるが発ができるからないののです。 少ののののではないでするができません。 少のののではないでする。 少のののではないでする。 少ののではないでする。 からののではないでする。 少ののではないでする。 からののではないでする。 からののではないでする。 からののではないでする。 からののではないでする。 からののではないでする。 からののではないでする。 からののではないでする。 からののではないでする。 からののではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないです。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないです。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないでする。 からのではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	□ 実務経験のある教員による授業 標成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 し、プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 成し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 対し、実験を実施することができる。 学位授与レポート用に実験結果をまと 学位授与レポート用に実験結果をまと 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 学位授与レポートの書き方指導 プロトタイプの作成を計画するこ 成し、実験を実施することができる。		

		6週	実験、プログラミング					プログラムを作成し、実験を実施することができる。				
		7週	実験、	プログラミ	ング			プログラムを作成し、実験を実施することができる。				
		8週	各指導	各指導教員による研究指導				完成品による実験、問題点の再検討。				
		9週	実験終	詰果のまとめ		実験結果のまとめと考察。						
		10週	実験終	詰果のまとめ		実験結果のまとめと考察。						
		11週	特別研	特別研究論文作成				特別研究論文の執筆				
	4+hO	12週	特別研	研究論文作成		特別研究論文の執筆			の執筆			
	4thQ	13週	特別研	特別研究論文作成				特別研究論文の執筆				
		14週	特別研	特別研究発表会				研究発表会で成果報告				
		15週	論文例	多正		Ī		論文を修正して	論文を修正して査読委員から了解をとる。			
		16週										
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類		分	野	学習内容	学習	内容の到達目標				到達レベル 授業週		
評価割合												
研到			研究に対す	究に対する取り組み		研究論文	i	研究発表	í	合計		
総合評価割合			30			40		30		100		
基礎的能力 0			0			0		0	(0		
専門的能力 :			30			40		30		100		
分野横断的能力			0			0		0	(0		